

“光盘行动”を表現する中国語

——《人民网》2013-2020年ニュース記事で
象徴的に使用される語句——

塩山正純

要旨 本稿は、人民日報社のニュースプラットフォーム《人民网》から発信された“光盘行动”をトピックとするニュース記事のタイトルと本文を資料として、“光盘行动”（完食キャンペーン、或いは、食べ切り運動）に関する中国語の表現について分析したものである。分析の対象とするテキストは、“光盘行动”が始まったとされる時期であり、《人民网》で初めて“光盘行动”に関するニュースが発信された2013年1月から直近の2020年10月までの7年10ヶ月間を対象とした。この期間内にキーワードとしての“光盘行动”がタイトル或いは本文中に現れるニュース記事は3344題あるが、読者に直接的に完食を呼びかけ食べ残しを戒める告知よりも、「雷鋒に学べ」のような伝統的スローガンとのリンク、「戦い」による喩え、そしてタイトル、記事本文の記述の中で比喩的表現によって因果応報を読者に暗に悟らせようとするポライトネスの特徴が指摘できる。なお、多字句の対句の連続など形式的な特徴については、紙幅の都合で稿を改めて検討する。

キーワード 中国語 完食キャンペーン 食べ切り運動 人民網 ニュース
プロパガンダ

浅论有关“光盘行动”的中文表现

——以《人民网》2013至2020年的新闻报道中具有象征意义的词语为中心——

摘要 在中国，2013年以来，展开了一项称为“光盘行动”的社会活动。自人民日报社的官方新闻网站《人民网》在2013年1月首次发表有关“光盘行动”的新闻报道后，一直到2020年10月，在此七年十个月的期间发表的有关新闻一共有3344条。本文以《人民网》上报道的有关“光盘行动”的新闻标

題及其正文为核心资料，初步探讨、分析其中文表现的特点。通过本文的考察，可以指出以下几点。首先，直接呼吁读者吃光盘中食物的倡议相对比较少。其次，使用雷锋、周恩来等人名让读者联想到节约。第三，以“战斗”的说法比喻这项活动。第四，在标题及正文中使用各种各样的比喻表现让读者间接地认识到“因果相报”的概念，这是一种新闻报道中表示敬意的修辞。

关键词 现代汉语 光盘行动 人民网 新闻 宣传 (活动)

はじめに

“光盘行动”は2013年1月に北京にある公益組織の指導的立場にある人物が自身のブログで提唱したことから始まった「完食キャンペーン」或いは「食べ切り運動」ともいうべき一種のエコ活動であるとされており¹⁾、学校・機関の食堂や、市中の庶民のレストランなど、ポスターや標語が掲示されて、それなりに人口に膾炙してきた官製・社会運動である。とは言え、2013年以来、持続的にメディアを賑わすようなホットな話題であるというわけでもなかったが、にわかに2020年夏に、中国国内の新聞、テレビ、インターネット等の各種メディアに“光盘行动”をキーワードとする様々な報道が出現する頻度が顕著になった。

筆者は担当する講読科目「総合演習」で、中国の様々な事象について外国の視点で報じるニュース記事で読むというスタンスで学生と精読している。2020年秋学期には *The New York Times* の中国語版ウェブサイト《纽约时报中文网》で2020年8月24日に配信された記事《习近平对粮食浪费宣战，推进“光盘行动”》を資料として使用した²⁾。同記事はタイトルでも“宣战”（宣戦

1) 趙蔚青 (2013) 184頁は「完食キャンペーン」、人民中国杂志社 (2013) Web ページの解説は「食べ切り運動」とする。また、《新京報》2020年8月27日配信の報道によると、この指導的人物とは中国国土资源報社に所属する徐志軍 (ブログ名: 徐侠客) である。

2) 《纽约时报中文网》《习近平对粮食浪费宣战，推进“光盘行动”》(配信日2020年8月24日) 参照。

布告する) というフレーズでエコ活動を戦争に例えるなど、記事全般に比喩表現が多用されている。日本の報道ではこうしたエコ活動に対して、“宣戦”といった勇ましい表現をするだろうか、という疑問が湧く。

The New York Times はアメリカのメディアであり、この“光盘行动”という中国の事象に関する外国メディアによる報道ということになる。記事の表現の特徴が当該メディア固有のものなのか、或いは中国語による表現の特徴なのかは、詳しく分析することも重要ではある。同時に、後述するようにこの“光盘行动”は純粋なエコ活動というよりは、中国国内の政治とリンクした官製活動でもあり、大いにプロパガンダ的性格を有するものでもあることから、ニュースを広い視野で理解するためには、まずお膝元の中国でどのような報じられ方をしているのか、その傾向についても注目することが必要である。

本稿では、中国共産党中央委員会の機関紙《人民网日报》を発行する人民日报社のニュースプラットフォーム《人民网》が代表的な官製メディアの立場からプロパガンダとして発信する“光盘行动”関連のニュース記事を対象資料として、その内容と記事配信の傾向と、比喩表現、外形的特徴を分析する。中国語を読む際には、中国語の文法・語彙の知識が必須であるが、中国語のニュースを読む際には、これに加えて、さらにニュースの背景と表現の特徴を捉えることも重要なポイントとなる。本稿で指摘する諸点によって、中国語学習でネットメディアのニュース記事を活用する際の着眼点を示せるのではないかと考える。

1. “光盘行动”とは

“光盘行动”とは2013年1月に、中国国土資源報社に所属する徐志軍という人物が「徐侠客」名義のブログで提唱したことから始まった一種のエコ活動であるが、具体的には「食べ残しをしないように呼びかける行動で、レストランなどで食事をしたときに、食べ残した分は持ち帰るよう包んでもら

い、お皿を空っぽにして店を出る行動」³⁾、或いは「外食の際に、できるだけ料理を食べ切り、食べ残しをテイクアウトするよう呼びかける運動」と定義される⁴⁾。

人民中国杂志社（2013）によると、「中国人には、ご馳走する際にメンツを重んじて食べ切れないほどの料理を注文する傾向があり、大きな浪費をもたらしている」ことを憂慮した「中国国土資源報社の副社長」つまり前述の徐志軍が自身のブログで“光盘行动”を展開したところ、『人民日報』などの大手メディアがこれに共鳴し、さらには2013年1月22日にCCTVのニュース番組“新聞联播”が大々的に報道したことで社会的にも認知され、各地のレストランがこの運動に参加するようになり、それぞれの方法で消費者が浪費をなくすように奨励しているとのことである⁵⁾。

ことばの面から“光盘行动”を見てみると、趙蔚青（2013）は「造語の方法として、“光盘”は空っぽを意味する“光”と、お皿を意味する“盤”からなっているが、すでに存在している「光ディスク」のことを意味する“光盘”を基にして作られた新語である」と説明する⁶⁾。また“光盘行动”は国家語言文字工作委员会により“中央八项规定”“棱镜门”“H7N9”“土豪”“自贸试验区”“单独二胎”“中国大妈”“女汉子”“十面霾伏”とともに2013年度の十大新語に選ばれている⁷⁾。北京語言大学国家語言資源監測与研究中心平面媒体中心が発表した2013年春夏季の“主要报纸流行语”（主要新聞流行語）でも総合類に“厉行节约”が“中国梦”や“H7N9禽流感”等と、国

3) 趙蔚青（2013）184頁参照。

4) 人民中国杂志社（2013）（配信日：2013年4月1日）の解説参照。

5) 人民中国杂志社（2013）（配信日：2013年4月1日）の解説及び《新京报 BJNEWS.COM.CN》《对话光盘行动发起人徐志军：要理性光盘、不要硬撑式光盘》（配信日：2020年8月27日）参照。

6) 趙蔚青（2013）184頁参照。

7) 《人民网》の記事《2013年十大新词公布》（配信日：2014年5月30日）参照。なお、本稿では考察対象とする《人民网》の記事を引用する場合、記事名と配信日のみを注記し、発行体である“人民日报社”とURLについては特に必要な場合を除いて省略する。また、煩雑さを避けるために、参考資料一覧にも記さないこととする。

内時政類に“光盘行动”が““老虎”“苍蝇”一起打”等と共に選出されている⁸⁾。さらに雑誌《咬文嚼字》編集部からも“光盘”が“中国梦、倒逼、逆袭、女汉子、土豪、点赞、微XX、大V、奇葩”と共に“2013年度十大流行语”に選ばれている⁹⁾。《现代汉语词典》第7版も“光盘”と“光盘行动”を採録し、“光盘”を“吃光盘子中的食物”（お皿の食べ物を食べ切る）、“光盘行动”を“倡导珍惜粮食反对浪费，吃光盘子中食物的行动”（食糧を粗末にせず浪費に反対し、お皿の食べ物を食べ切ることを提唱する行動）と説明している。

2. ウェブ・ニュース記事でのキーワード“光盘行动”の登場

“光盘行动”の概要については前節までに記述したが、ウェブ上の関連ニュースでの初出は《人民网》の検索結果によると、2013年1月22日に配信された《记者酒楼暗访：上座率明显下降 宴请单位成机密》であり¹⁰⁾、キーワードとしての“光盘行动”は現れないものの、各地で宴会での浪費が止まず、また宴会の主催単位の情報が秘密化されている状況を批判的に報じている。また、同記事では“上座率明显下降，宴请单位成机密”“餐桌浪费不减，宴请单位成谜”“公务宴请化整为零、隐身埋名”等の多音節フレーズの連続による表現も見られる¹¹⁾。キーワードとしての“光盘行动”の初出は、翌日の1月23日に配信された《人民网评：关心粮食和蔬菜，接力成为“光盘”一族》で¹²⁾、記事冒頭の一文“一场“光盘行动”正在我们身边进行”に

8) 《人民网—人民日报海外版》の記事《北京语言大学发布了主流报纸流行语榜单》（配信日：2013年8月16日）参照。

9) 《人民网—文化频道》《咬文嚼字公布“2013年十大流行语”女汉子土豪上榜》（配信日：2013年12月19日）参照。

10) 《中华新闻网》《记者酒楼暗访：上座率明显下降 宴请单位成机密》（配信日：2013年1月22日）参照。

11) 多音節フレーズの連続による表現については、紙幅の関係により別稿にて考察する。

12) 《人民网》《人民网评：关心粮食和蔬菜，接力成为“光盘”一族》（配信日：2013年1月23日）参照。

“光盘行动”が登場し¹³⁾、後述する“舌尖上的浪费”のメタファーもすでに現れている。また、CNKI の新聞記事検索での初出は同1月22日に配信された《“光盘行动”被转发5000万次》であり、“光盘行动”が中国版 Twitter と呼ばれる“微博”上で短期間に“转发”(リツイート)されて急拡散・急拡大していく様子が時系列で紹介されている。

“光盘行动”と銘打たれた活動は2013年1月に始まったものだが、“杭州有一些餐厅已经实践了多年的“光盘行动””(杭州では幾つかのレストランですでに長年の“光盘行动”が実践されていて)、取材を受けたレストランオーナーが“我们自2006年就开始推行‘光盘行动’，就是提倡节约”(我々は2006年からすでに“光盘行动”を進めているが、これはつまり節約を提唱しているのです)と回答した旨を報じる記事もあり¹⁴⁾、この類のエコ活動の実質的な開始時期は数年遡ることになるだろう。

3. “光盘行动” 関連ニュース配信の4つのピーク

《人民网》で2013年1月から直近の2020年10月までの7年10ヶ月間を対象として検索した結果、キーワードとしての“光盘行动”がタイトル或いは本文中に現れるニュース記事が3344題ヒットしたが、この7年10ヶ月間にニュースがコンスタントに発信されたわけではなく、次頁図1が示すように、そのニュースの発信には大小あわせて4つのピークがあることが分かる。

一つ目のピークは、2013年1月から3月の3ヶ月間で、2012年11月に習近平が中国共産党中央委員会総書記、中国共産党中央軍事委員会主席になり、同年末の談話で“中国梦”(中国の夢)を発表して直後のタイミングである¹⁵⁾。二つ目のピークは、2013年11月から2014年1月である。これは習近

13) 教学面から見れば、この一文の“一场“光盘行动””は初級・準中級レベルではさほど出現頻度の高くない「比較的長い経過をたどる現象」を数える量詞“场”の用例として活用できよう。

14) 《新华网》《有多少餐馆，点菜员会对你说“够了”》(配信日：2013年1月28日)参照。

15) 趙蔚青(2013)184頁参照。なお、習近平の国家主席就任は2013年3月である。

“光盘行动”を表現する中国語

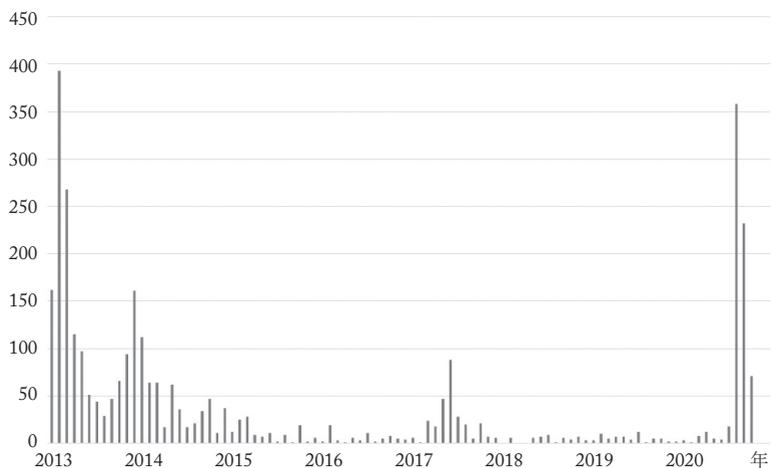


図1 “光盘行动” 関連記事の月別タイトル数グラフ

注：月別用例数は付表として論末に掲載。

平が国家最高指導者となって一年経った2013年11月に中国共産党第18期中央委員会第3回全体会議が開催され、習近平政権が2017年に予定される次期党大会までの数年間を視野に、権力の集中とイデオロギー統制、規制強化の傾向を強化しはじめた時期にあたる¹⁶⁾。この時期以降、社会の安定を目標とする習近平政権にとっての懸念材料について、及川淳子（2014）はここで「最も深刻なのが道徳の荒廃や社会的信頼の喪失という問題」であり、さらに政権が対処すべき社会問題が複雑化し、その要因が社会の構成要員である人民の心に内在することを指摘している¹⁷⁾。この時期の“光盘行动”推しは、まさに社会の安定を目指す雰囲気醸成のための集中的なプロパガンダであると言える。三つ目のピークは2017年5月から7月までの比較的小さい山で、同年秋の党大会で習近平が二期目を迎える直前のタイミングである。そして四つ目のピークが2020年8月から10月であり、前月の7月に比べてタイト

16) 及川淳子（2014）32頁。

17) 及川淳子（2014）37頁。

ル数が急上昇していることが分かる。この四つ目のピークは、中国がアメリカ及びその同盟国との経済摩擦の状況下で一層の「自力更生」が求められること、中国を取り巻く地政学的状況、新型コロナ、トランプ政権との貿易戦争、この年の夏の大洪水などの困難に対して人民の精神的耐久性を求める強いメッセージであると理解することが妥当であろう¹⁸⁾。

4. “光盘行动”を表現する中国語——象徴的に使用される語句

《人民网》の検索で2013年1月から2020年10月までの7年10ヶ月間にキーワード“光盘行动”がタイトル或いは本文中に現れるニュース記事が3344題ヒットする。この3344題の“光盘行动”を表現する中国語の特徴については、1) 象徴的に使用される語句、2) 多用される文法構造、3) 定型の多字句のリズム、の三つの面からの考察を予定しているが、紙幅の関係から、本稿ではまず第1点目の象徴的に使用される語句についてのみ考察する。

4.1 記事タイトルに現れる“光盘行动”

前述の通り“光盘行动”のニュースでの初出は2013年1月22日であるが、タイトルと本文に“光盘行动”が現れる記事は342題で、全3344題の約1割を占め、2013年1～3月の第1のピークと、2020年8～10月の第4のピークに頻出する。用例中の“光盘行动不是口号”や“从“光盘行动”踏上创业

18) *The New York Times* 《纽约时报中文网》“Xi Declares War on Food Waste, and China Races to Tighten Its Belt”《习近平对粮食浪费宣战，推进“光盘行动”》（配信日2020年8月24日）の以下の本文参照。

“Cultivate thrifty habits and foster a social environment where waste is shameful and thriftiness is applaudable,” Mr. Xi said in a directive carried by the official People’s Daily newspaper last week. Mr. Xi’s edict is part of a broader message from the leadership in recent weeks about the importance of self-reliance in a time of tensions with the United States and other economic partners. The concern is that import disruptions caused by the global geopolitical turmoil, the pandemic and trade tensions with the Trump administration, as well as some of China’s worst floods this year, could cut into food supplies.

路”、そして““光盘”是行动”などは“光盘行动”が単なるスローガンではないことを強調している。“拒绝浪费并不难，只需从吃饭开始”は“光盘行动”のスタート時に敷居の低さを説明している。そして、2020年以降の用例はいずれも“光盘行动”が社会全体のものであることを強調し、社会の構成員である一人ひとりが活動へ参画することを呼びかけている。また“纷纷发起以吃光盘子里的东西为主题的“光盘行动””（皿の中の食べ物を食べきることを主題とする「完食キャンペーン」が続々と提唱される）¹⁹⁾、“倡导将盘中餐吃光喝净的“光盘行动””（皿の中の食べ物を食べきり飲みきる「完食キャンペーン」が提唱される）等は²⁰⁾、このエコ活動の主題と内容を描写していると言えよう。

- ・“剩宴”何时休？光盘行动不是口号 半价菜小份菜可以有（2013年1月30日）
- ・我们为“光盘行动”叫好，也由此深思：拒绝浪费并不难，只需从吃饭开始（2013月4日4日）
- ・从“光盘行动”踏上创业路（2013年7月4日）
- ・“光盘”是行动，节俭为习惯（2013年11月21日）
- ・“光盘行动”与我们息息相关（2020年6月6日）
- ・“光盘行动”融入全民日常（2020年8月4日）
- ・多所高校开展“光盘行动”培养学生勤俭节约美德（2020年8月17日）
- ・“光盘行动”成为文明新风尚（2020年9月26日）
- ・“光盘行动”从你我做起（2020年10月16日）

4.2 “光盘行动”の背景としての“中国梦”

“光盘行动”のニュース記事配信の一つ目のピークは2013年1月からの3ヶ月間で、前年11月に最高指導者となった習近平が同年末の談話で打ち出した“中国梦”（中国の夢）のスローガンがニュースのキーワードとして

19) 《共产党员手机报》20130130》（配信日：2013年5月25日）参照。

20) 《共产党员手机报》20130307》（配信日：2013年5月26日）参照。

登場する。7年10ヶ月に全86例あるが、初出は2013年2月21日配信の“中共新领导集体履新一百天“中国梦”催动正能量”（中共新指導体制始動から100日「中国の夢」がポジティブエネルギーを推進する）で、61例が習近平体制1年目の2013年に集中的に発信されている。“中国梦”を主題とする記事にも“光盘行动”に関するキーワードが現れることが非常に多く、例えば2013年3月16日配信の記事《为了13亿人的中国梦》でも“餐饮浪费、公款浪费、舌尖上的浪费、勤俭节约、抵制“舌尖上的浪费”、吃饭打包、杜绝剩饭、厉行节约、反对浪费”など多数の節約・反浪費に関するフレーズが含まれる²¹⁾。また、浪費撲滅キャンペーンの“光盘行动”とも関連して、同じく2013年から展開された反腐败キャンペーンの““老虎”“苍蝇”一起打”（トラとハエを同時に打つ）は²²⁾、“光盘行动”とともに“十大流行语”としてピックアップされてはいるが²³⁾、“光盘行动”のニュース記事本文にキーワードとして現れることはない。

4.3 飲食文化の背景にある“面子”

中国人が食事でもてなす時にはテーブルに料理が並び切らないほどであるが、誰もが知るその文化背景のある記事は“地方习俗中，餐桌上的菜如果被吃光，就会显得主人招待不周”と解説する²⁴⁾。“面子”は80例あり、多くの記事では“面子”が浪費の元凶のキーワードとして描写されているが、一方で“面子”を捨てることで良い結果がもたらされるという論調や、“光盘行动”こそが本当の“面子”であるという論調で、旧概念の“面子”からの脱

21) 《为了13亿人的中国梦》（配信日：2013年3月16日）参照。

22) 北村豊（2018）によると「2013年1月に、特権を利用して大きな腐敗を行う指導幹部の「トラ」と庶民の周囲で小さな腐敗を行う「ハエ」を取り締まる「トラ退治とハエ駆除を同時に行う腐敗撲滅運動」を発動した。この結果、2017年12月までに150万人の役人が取り調べを受け、共産党および政府の高級幹部、“人民解放軍”および“武装警察”の高級軍官が数百名規模で腐敗を摘発されて処罰された」。

23) 《人民网》《十大流行语折射时代风》（配信日：2013年8月16日）参照。

24) 《人民网》《中国共产党新闻网》《光盘行动也需拿民间陋习开刀》（配信日：2017年6月1日）参照。

却の描写も見られ、“面子”が原因、変化、理念のキーワードとして機能していると言える。

1) 浪費の原因としての“面子”

- ・进包厢吃饭的顾客有很多都是请客的，有些人好面子，点菜多，而且偏好点贵菜（2014年7月2日）
- ・浪费的根子在于国人长期以来形成的“面子”观念（2013年1月27日）
- ・以前，我请别人吃饭很要面子，每次都是点一桌、剩半桌（2013年1月28日）
- ・过去点菜 客人好“面子”（2013年11月25日）

2) “面子”を捨ててこそ良い結果につながる

- ・杜绝浪费须破除“面子”观念（2013年1月27日）
- ・“春节聚餐 光盘延续”：理性点餐胜过面子（2013年2月17日）
- ・丢掉面子“光盘行动”才能走远（2013年2月6日）
- ・不争面子 则少“剩宴”（2013年2月28日）
- ・“舌尖上的浪费”悄然回潮 面子文化需反思（2015年12月23日）
- ・为“光盘行动”撕掉面子的外衣（2017年6月6日）

3) 浪費をやめて食べ切ることこそが本当の“面子”である

- ・“光盘”才是真面子（2013年1月25日）
- ・“光盘”才有面子（2013年1月28日）
- ・“光盘行动”其实更“体面”（2013年2月18日）

4.4 キーワードとして前面に押し出される人名

——習近平、雷鋒そして周恩来

“光盘行动”のニュース記事の主要な文脈では、象徴的な人物として習近平、雷鋒、周恩来の名前がしばしば登場する。

1) 習近平

最高指導者である習近平の発言や活動が“光盘行动”のニュース記事にリンクすることも多く、全3344例のうちタイトル100例に名前が登場する。一方で、ナンバー2の李克強は“光盘行动”のニュース記事配信の最初のピー

ク終盤の2013年3月の1例にしか登場しない。

- ・中共中央总书记习近平近日就“舌尖上的浪费”作出重要批示，要求厉行节约，反对浪费（2013年2月16日）
- ・习近平“代表肚里油水少了”的幽默蕴意深（2013年3月9日）
- ・习总书记都吃自助了，你千万别浪费……，厉行节约、反对浪费成为一种时尚（2013年3月16日）
- ・习近平总书记又作出了“厉行节约、反对浪费”的重要批示（2013年5月28日）
- ・李克强廉政工作会议讲话够“刹根”！（2013年3月28日）

2) 雷鋒

3月5日は“学雷锋纪念日”（「雷鋒に学べ」の記念日）である。中国では毎年、この日を中心に“学雷锋”のプロパガンダのニュース記事が発信されるが、“学雷锋”の記事に“光盘行动”が関連キーワードとして登場したり、“光盘行动”の記事に“学雷锋”が登場する。初出は2013年2月23日の《浙江日报》《浙大学子热心投身学雷锋》で、浙江大学の“光盘行动”社会实践サークルの学生グループが某県のホテルのレストランを訪問し“光盘”の掲示物を個室入口の目立つ場所に貼り出し、さらにボランティアの接客係として客に少量の注文と節約を呼びかけた²⁵⁾、というものである。以下に挙げるように、大学や国営企業、少数民族自治区、政府機関などの様々な場面で、“学雷锋”と“光盘行动”とがリンクした活動が展開される様子が描写されている記事が合わせて54例見られる。

- ・《人民网》《西南大学举行“学雷锋，争做光盘族”活动》（2013年3月3日）
每个橱窗上都张贴着印有雷锋头像与光盘图案的海报，餐桌上也摆放着“学雷锋，争做光盘族”的提示牌。大多数就餐的学生都是吃多少打多少，就餐完餐盘几乎都是干干净净的。

25) 同記事の原文は“浙大丹青学园“光盘行动”社会实践团的同学们来到酒店餐馆，制作“光盘”小贴士，悬挂在包厢门口等显眼处，还义务做起点菜员，劝说客人适量点菜，厉行节约。”である。

- ・《中国广播网》《学雷锋日 新疆团委开展“光盘行动”》(2013年3月6日)
在全国第50个“学雷锋日”当天,新疆团委开展“光盘行动”宣传活动,
- ・《人民网》《国家电网垦利县公司:开展学雷锋主题教育实践活动》(2013年3月7日)

深入开展“光盘行动”,开辟“光盘行动”专栏,征集“光盘行动”话题稿,营造“节约光荣、浪费可耻”的良好氛围;持续开展“三节约”活动,从一张纸、一滴水、一度电入手,厉行节约,反对浪费,用实际行动弘扬艰苦奋斗、勤俭节约的精神。

- ・《中直党建网》《中国外文局开展“学习雷锋 关爱我身边的外宣人”系列活动》(2013年5月7日)

局青年志愿者协会在局食堂进行“光盘行动”的公益宣传,倡导勤俭节约风尚,征集践行“我骄傲 我是光盘族”的签名。活动得到全局广大干部职工的热烈响应,共计700余名职工签名支持“光盘行动”。

3) 周恩来

周恩来が“光盘行动”を報じるニュース記事に22回登場し、例えば“周恩来一直非常俭朴,平时在家里吃饭,都是一荤一素一个汤,有时候一条鱼这顿饭没吃完,就留着下一顿再吃,不会没吃完就丢掉,实际也是“光盘行动”のように²⁶⁾、いずれも質素儉約の象徴として描写されている。一方で、毛沢東の名前が記述されているのは、“光盘行动”と反腐败キャンペーンの文脈を過去に遡る事例として“毛泽东当年在西柏坡已清醒地认识到即将持政的中国共产党,最大的考验和危险来自“糖衣炮弹””(2013年9月11日)の1例のみである。

4.5 “政府、党、两会”が主導する“光盘行动”

“光盘行动”は党や国や地方の政府機関が大いに関与する活動であることから、関連するニュース記事のタイトル、本文にも“政府”や“党”そして

26) 《人民网》《周恩来的朴素岁月:当总理26年间只穿三双皮鞋》(配信日2013年3月1日)参照。

“两会”が頻出し、「政府が主導する、政府は～すべき、党中央が、中国共産党が、两会（人大と政協）が」などの文脈で用いられる。用例数は“政府”132例、“党”388件、“两会”227例である。

- ・ 政府引导“光盘行动”（2013年4月19日）
- ・ 治理剩饭剩菜，政府应当放权（2013年5月31日）
- ・ 党中央厉行勤俭节约、反对铺张浪费的鲜明态度和坚定决心（2013年1月29日）
- ・ 中共禁“舌尖腐败”引发“蝴蝶效应”（2013年6月15日）
- ・ 【两会众议】“代表肚里油水少了”期待成为新常态（2015年3月11日）
- ・ “勤俭”两会“实干”兴国（2013年3月12日）
- ・ 两会勤俭之风，让老百姓看的实在，摸的更实在。（2013年3月12日）

4.6 食事の基本的な量のダウンサイジングに関する表現

中国では伝統的にひとをもてなす宴席では食べ切れないほどの“丰盛的菜”をテーブルに並べ、豊かな時代になってからの弁当などの個食も、最初から食べきることを想定していないようなボリューム感が特徴であった。浪費を防ぐために、食事の基本量のダウンサイジングが提唱される文脈で、“半份菜”（量が従来の半分の料理）“半份餐”（同前）“拼盘菜”（多種類のおかずを少量ずつ盛り合わせたもの）“半价菜”（価格が半額の料理）が使われる。このほか、“馒头”の1/4サイズの小分け売りの表現も1例ある。

- ・ 商务部叫停中国式“剩宴”提倡提供“半份餐”服务（2013年1月28日）
- ・ 春节吃喝不晒美食晒“光盘”半份菜 拼盘菜流行（2013年2月24日）
- ・ 餐馆纷纷推出半份菜、小份菜，号召适量点菜、避免浪费。（2013年11月19日）
- ・ “光盘”遇冷，部分餐馆取消半份菜（2013年11月26日）
- ・ 点半份菜 拼盘菜 给你优惠（2013年12月3日）
- ・ 北京多家高校发起“光盘行动”推出“半价菜”（2014年5月29日）
- ・ 清华大学为防餐桌浪费馒头可按1/4卖（2014年5月29日）

4.7 二人称代詞“你”での呼びかけ

記事タイトルや本文中で、読者に呼びかけて、様々なことを確認する表現もあり、なかでも二人称代詞“你”で呼びかけるものが173例ある。呼びかける内容のほとんどは「(皿の中のものを) 食べ切っていますか」というものである。また、少数ではあるが五字の対句でキャッチコピーとして「テーブルに並べた料理を持ち帰れば、無料で料理を贈ります」を表現するものや、節約を呼びかける例もある。

- ・今天, 你 “光盘” 了吗? (2013年1月31日)
- ・新学期你做到“光盘”了吗? 勤俭节约从细节始 (2013年3月5日)
- ・我光盘了, 你呢? (2013年12月13日)
- ・你吃光了盘中的食物了吗? (2016年1月28日)
- ・快看! 国家制止餐饮浪费将立法, 你的消费习惯要改了 (2020年8月14日)
- ・你餐桌打包 我免费赠菜 (2013年2月5日)
- ・今天, 你节约了吗? (2013年2月1日)

4.8 マナーの記号としての“文明”

男子トイレの有名な標語“向前小一步, 文明大一步”(筆者注: もう一歩小さく前に出れば、それはマナーの大きな一歩です) にもあるように、“文明”はマナーを象徴するキーワードとして様々な文脈の中で用いられる。調査の範囲でも、“光盘行动”を伝えるニュースの中で784例の用例があり、以下の五つのパターンで極めて多く使われていることが分かる。

1) 定語“文明的～”

- ・节俭是文明的体现 (2013年4月26日)
- ・传播着文明的能量和社会的温情 (2014年4月11日)

2) 中心語としての“～的文明”

- ・“光盘行动” 重塑舌尖上的文明 (2014年2月5日)
- ・从细节倡导餐桌上的文明 (2020年10月5日)

3) 述語としての“文明”

- ・文明餐桌领导小组，行动必须文明（2013年5月30日）（後者の“文明”が該当）
- ・你文明吗（2013年10月12日）

4) 目的語としての“文明”

- ・游我家乡看文明（2013年9月8日）
- ・节日餐饮应吃出文明（2020年10月7日）

5) 状語を含む“文明～”フレーズ

- ・文明就餐靠限制“打包”靠谱吗？（2013年8月16日）
- ・向游客推出符合节约理念的菜品，鼓励顾客打包剩菜，推行“文明餐桌”行动。（2014年3月24日）
- ・内蒙古敖汉旗：聚焦群众心坎事 文明“五行”促民生（2014年9月17日）
- ・文明节约过节也是一种新常态（2015年2月11日）

6) “～文明”フレーズ

- ・禁盘中浪费 兴舌尖文明（2014年1月31日）
- ・以公用餐文明引领社会消费文明：走进食堂探节约（2014年3月24日）

4.9 比喩で“光盘行动”を表現する

中国語はメディアのニュース記事でも極めて多くの比喩表現が使われるが、“光盘行动”のトピックも例に漏れず多種多様な比喩が使われている。ここでは特徴的な幾つかの例について見てみたい。

4.9.1 「舌」の喩え

“光盘行动”は「食」に関する反浪費、節約のエコ活動であることから、「食」と最も密接な関わりのある“舌”による比喩が極めて多い。舌そのものは中国語で“舌头”だが、“光盘行动”の比喩で使われるのは「食」に関して味覚をつかさどる“舌尖”（舌先）と方位詞が付いた“舌尖上”である。一般的に“舌尖上的中国（或は：武汉、安徽、成都、北京、重庆、杭州、江苏、天津、西安など）”、“舌尖上的美食”、“舌尖上的记忆”、“舌尖上的旅行”、

“舌尖上的信念”、“舌尖上的故事”などのフレーズでは、“舌尖上”は美食、グルメ、味のイメージを担っている²⁷⁾。

1) 舌先の浪費

勿体ない食べ方をするを“舌尖浪费”、或いは方位詞が付いた“舌尖上的浪费”で表現するが、この場合の“舌尖”或いは“舌尖上”は、食べ物や食べることを象徴する。“向舌尖上的浪费说“不””は「舌先の浪費（つまり、食べ物の浪費）に「NO」を言う」となる。

- ・ 随着年节的渐进, “舌尖上的浪费” 又成了一个较为普遍的现象。(2013年1月28日)
- ・ 勤俭节约——向舌尖上的浪费说“不”(2013年5月9日)
- ・ 随手拍舌尖浪费、“光盘行动”正成为许多人的习惯。(2013年6月15日)
- ・ 遏制“舌尖上的浪费”靠禁令更要靠自觉(2014年3月20日)
- ・ 舌尖上的浪费怎么治?(2014年4月2日)

2) 舌先の腐敗

“腐敗”は「腐敗、墮落」を表し、“舌尖腐敗”は基本的には“舌尖浪费”と同義である。

- ・ 湖北荆门严打“舌尖腐敗”举报者可获千元奖励(2013年9月4日)
- ・ 凡举报“舌尖上的腐敗”行为, 经调查核实的, 一次性奖励举报人1000元现金。(2013年9月4日)
- ・ 举报“舌尖腐敗”奖千元(2013年9月4日)

3) ポジティブな舌先

ネガティブな“浪费”と“腐敗”に対して、“舌尖上的节约”は、食べ物もしくは食べる際の節約、を表し、“舌尖上的文明”は、食べ物に対する、もしくは食べる際のマナーを指す。

- ・ 我国每年浪费的粮食相当于2亿人一年的口粮, 足可见“舌尖”上的节约

27) 中国中央电视台(CCTV)に2012年に放送開始されたグルメドキュメンタリー番組の《舌尖上的中国》がある。“舌尖上的～”の表現はこの番組名がもとになっていると考えられる。

刻不容缓。(2013年8月7日)

- ・南宁各家餐厅也在大力倡导“光盘行动”，多措并举鼓励“舌尖上的节约”。
(2020年10月8日)

- ・“光盘行动”重塑舌尖上的文明 (2013年2月5日)

4) その他の「舌尖の～」

2012年の年末に発布された“八项规定”から巻き起った“风暴”(嵐)は、ぜいたくに対抗するポジティブな意味での大規模騒動であり、ぜいたくの象徴である“剩宴”は“耻辱”(恥)になるのである。

- ・自中央“八项规定”发布以来，全国刮起一股“舌尖上的风暴” (2013年3月1日)
- ・盛宴变“剩宴”是一种舌尖上的耻辱 (2017年3月24日)

5) “舌尖上的浪费”と共起する動詞

「舌尖」の比喻で最も多く使われている“舌尖上的浪费”は目的語として以下の動詞と共起するが、動詞“避免”(防止する)、“打击”(打撃を与える)、“抵制”(防止する)、“杜绝”(撲滅する)、“遏制”(抑止する)、“反对”(反対する)、“警惕”(警戒する)、“聚焦”(照準を定める)、“拒绝”(拒絶する)はいずれも、改善を要するターゲットへの同一方向の動きを表している。

- ・避免“舌尖上的浪费” ・打击“舌尖上的浪费” ・抵制“舌尖上的浪费”
- ・杜绝“舌尖上的浪费” ・遏制“舌尖上的浪费” ・反对“舌尖上的浪费”
- ・警惕“舌尖上的浪费” ・聚焦“舌尖上的浪费” ・拒绝“舌尖上的浪费”

“舌尖上的腐败”もほぼ同様な傾向で、以下の動詞(+補語)や重ね型と共起する。

- ・杜绝“舌尖上的腐败” ・刹住“舌尖上的腐败” ・治理舌尖上的腐败
- ・治治“舌尖上的腐败”

6) 「舌の外」の浪費は食以外の部分での浪費

食べることを“舌尖”と“舌尖上”で象徴しているのに対して、方位詞“外”を付けることで“舌尖外”(舌の外)とした場合には、「食」以外の部分での浪費を対比的に表している。

- ・“舌尖外的浪费” 同样不容忽视 (2013年4月08日)

4.9.2 「口」の喩え

「舌」ほどの頻度はないが、公費による不相応な飲食をストップする意味で“縫上～的嘴”(～の口を縫って蓋をする)という表現が1件の記事のタイトルと本文で使われている。また“光盘行动”もあれこれと通達を出して形式的に上意下達の命令をしているだけでは“管不住一张嘴”(口を管理し切れない)というものがある。さらに書きことばの“口”による“关口期”(口を閉じる=食べない)で、公費による不相応な飲食禁止の活動が佳境に入りつつあることを示したりしている。

- ・タイトル：用制度“縫上”公款大吃大喝的嘴 (2013年11月28日)
- ・本文：靠什么才能“縫上”公款大吃大喝的嘴 (2013年11月28日)
- ・上百个文件管不住一张嘴 (2013年11月28日)
- ・三令五申管不住一张嘴的现象销声匿迹了。(2014年10月8日)
- ・整治公款吃喝步入“关口期” (2013年5月28日)

4.9.3 テーブルに関する喩え

食事の場所、場面としての“餐桌”(テーブル)をキーワードとする比喻表現も見られる。「テーブルでの浪費」で定語+中心語の構造で“餐桌浪费”或は方位詞の付いた“餐桌上的浪费”で表される。このほか、“光盘行动”が下火になったことで“餐桌又见浪费”(テーブルで浪費が見られる)という目的語としての例もある。さらに、“餐桌下的节约”(テーブルの下の節約)で表しているのはテーブルの上に並ぶ料理になる前段階の調理での、例えば中国料理には必須の油を始めとする食材、調味料の節約についても疎かにしてはいけないという点である。

- ・政协委员建议：遏制餐桌浪费先向公款吃喝“开刀”(2013年3月1日)
- ・教育部从即日起开展为期一个月的反对餐桌浪费专项行动，推进“光盘行动”(2013年3月22日)
- ・[前略]大中型餐厅开展了“光盘行动”，目的是减少人们餐桌上的浪费现

象（2013年2月1日）

- ・科学统筹杜绝“餐桌上的浪费”（2020年8月25日）
- ・“光盘”遇冷，餐桌又见浪费（2013年11月19日）
- ・餐厨垃圾难处理 别忽视了“餐桌下的节约”（2013年3月1日）

4.9.4 その他の比喻表現

ここまでピックアップした各項目のように多数の用例があるわけではないが、特徴的なものとして、“餐桌、舌尖、舌尖上”等とともに「浪費」の場所として「皿の中」を示す“盘中浪费”（皿の中の浪費）と、「浪費」を病原菌に喩える“浪费的病菌”（浪費の病原菌）がある。

- ・禁盘中浪费 兴舌尖文明（2013年1月31日）
- ・在不少地方，浪费的病菌却发生基因突变，产生各种变种（2013年11月28日）

4.9.5 「戦い」に喩える

民間活動とは言いつつ、実質的に最高指導者、党、政府が主導する“光盘行动”は、革命と同じく一種の戦いに例えて表現されることが多い。漢字“战”を含む語彙やフレーズは“战役、开战、持久战、歼灭战、战斗、宣战、保卫战”など合わせて72例ある。

- ・“光盘行动”所倡导的“节约意识”，更是一场没有“时间截止点”的战役（2013年1月26日）
- ・向浪费开战！（2013年2月6日）
- ・在这场“厉行节约、反对浪费”的战役中，将何去何从？（2013年2月26日）
- ・两会最新闻：反腐败打持久战与歼灭战表明高层恒心（2013年3月5日）
- ・新华网评：“光盘行动”不是一个人的战斗（2017年5月27日）
- ・2013年倡导开展的“光盘行动”，便是对浪费粮食、暴殄天物行为的宣战。（2017年6月6日）
- ・倡导文明风尚，厉行节约的行动推向深入，参与到这场“食物保卫战”

中。(2020年8月13日)

4.9.6 浪費イコール災害の喩え「甚大被災エリア」

エコの象徴的活動が“光盘行动”だとすれば、絶やすべき対象としての“浪费”が「災害」である。“浪费”という甚大災害による被災エリアという意味での“重灾区”が23ヶ所で使われている。

- ・ 一些自助餐厅更成浪费“重灾区”(2013年1月30日)
- ・ 自助餐成“舌尖上的浪费”重灾区(2013年2月20日)
- ・ 特别是婚丧嫁娶期间, 餐饮浪费仍是“重灾区”。(2017年6月1日)

4.10 同音のパロディーとしての“盛宴”と“剩宴”

中国語には“气管炎”(気管支炎)と“妻管严”(恐妻家)のような同音によるパロディーがあるが²⁸⁾、“光盘行动”に関連したものでは、豪華な宴会と浪費の問題を描写する文脈で“盛宴”(豪華な宴会)とその同音の“剩宴”(食べ残す宴会)が使われる。用例数は前者34例、後者157例である。

- ・ 中国式“剩宴”浪费触目惊心 自助餐厅成重灾区(2013年1月23日)
- ・ 重奖吃剩菜的服务员挡不了中国式“剩宴”(2013年1月25日)
- ・ 春节餐桌 能否盛宴不剩(2016年2月16日)
- ・ 不争面子 则少“剩宴”(2013年2月28日)
- ・ 常念“光盘”拒绝“剩宴”(2013年12月13日)
- ・ 从“剩宴”回归“光盘”(2016年2月5日)
- ・ 光盘行动: 莫让“盛宴”成“剩宴”(2017年6月1日)

また、“盛”の同音からの連想で用いられる“剩”は他動詞「余らせる」であり、同じく「(食事・食品を)余らせる」男女にはならない、ことを表す“剩男剩女”がある。元々の“剩男剩女”は適齢期になっても独身で

28) イリヤス・姜(2012)44頁は“日本は大核民族。中国は盐荒子孫。”の対聯の表現について、「中国語に多数存在する同音異義語を利用した洒落になっている。“大核”は“大和”と同音で、“盐荒子孫”(塩不足民族)は“炎黄子孫”(古代中国伝説上の皇帝である炎帝・黄帝の子孫)と同音である」とする。

「余っている」人間であることを表すことばである。さらに同じカテゴリーでは、同音の“良心”に引っ掛けた“粮心”がある。

- ・给力大学食堂标语：吃光盘中餐 不做剩男剩女（2013年4月12日）
- ・世界粮食日，每个人都要讲“粮”心（2014年10月17日）

4.11 “～之风”の言い方

時代の風潮、気風、習慣などを言い表す“～之风”の表現が177例あり、110例が“光盘行动”がスタートした2013年に集中している。“～之风”は中性的に使われ、積極、消極のいずれの風潮、気風、習慣とも相性は良く、用例もそれぞれまんべんなくある。

1) 積極的な“风”

- ・一股“厉行勤俭节约，反对铺张浪费”之风席卷大江南北（2013年2月7日）
- ・“光盘行动”之风正吹拂着上海市民的餐桌。（2013年2月10日）
- ・从中央到地方都开始倡导勤俭节约之风（2013年2月16日）
- ・两会勤俭之风（2013年3月12日）
- ・官场的清廉风气带动了全社会的节俭之风（2013年4月26日）
- ・“光盘”之风从社会一路刮进各大高校（2013年11月27日）
- ・遏制公款吃喝、铲除奢靡之风都是首当其冲（2013年11月27日）
- ・节俭之风正在从行动变成习惯。（2015年3月10日）

2) 消極的な“风”

- ・“剩宴”之风必遭遏制（2013年1月24日）
- ・习近平同志“浪费之风务必狠刹”的批示风劲弓鸣（2013年1月31日）
- ・打击大吃大喝之风（2013年2月4日）
- ・“礼尚往来的浪费”，助长奢靡之风。（2013年2月21日）
- ・唯有从制度上想办法，才能从源头上狠刹奢侈浪费之风。（2013年11月28日）
- ・对于民间的攀比浪费之风，除了行政强制，有没有更好对策？（2015年8月5日）

- ・奢靡浪费之風十分頑固、容易反弹。(2016年2月16日)
- ・宣传勤俭节约、整治浪费之風(2020年8月13日)

4.12 完食する人、食べ切る人を表す“光盘族”

中国語には、例えば“80后”世代のキャラクターを描写したことばとして“小皇帝”の他にも、“啃老族”(すねかじり)、“月光族”(月給を使い切って暮らす「宵越しの金は持たぬ」タイプ)、“尼特族”(ニート)、“草莓族”(温室育ち)など、様々な“～族”の表現があるが、“光盘行动”でもそのキャンペーンの開始早々に「完食する人、食べきる人」を表す語として““光盘”一族”が現れ、さらに一月半後には“光盘族”が現れた。

- ・关心粮食和蔬菜，接力成为“光盘”一族(2013年1月23日)
- ・代表争做“光盘族”(2013年3月6日)
- ・信阳高档酒店争推“半份菜”市民争当“光盘”族(2013年3月21日)
- ・不少男生都成了名副其实的“光盘族”(2013年4月1日)
- ・“光盘行动”受热捧 一街道光盘族就餐可享折扣(2013年5月27日)
- ・做个自豪的“光盘”族(2013年11月27日)

さらに“光盘族”の類似パターンの語として、「完食する学生、食べきる学生」を表す“光盘生”や、男気を強調した“光盘侠”、さらに「残した食べ物を持ち帰る人」を表す“打包族”も現れた。

- ・男生多是“光盘生”(2013年3月5日)
- ・今年过年要做“光盘族”、“打包族”(2013年1月28日)
- ・校园“光盘侠”越来越多(2017年5月27日)

おわりに

本稿は2013年1月に始まった“光盘行动”について、2020年10月までの7年10ヶ月間に《人民网》から発信されたニュース記事のタイトルと本文で記述された中国語の表現について分析したものである。劉亜菲(2016)に

よれば、中央クラスのメディアは影響力が最も強く²⁹⁾、さらに《人民网》は微博の発信力ランキングでも上位に入るが³⁰⁾、「急速な発展を成し遂げ、オピニオンリーダーとして顕在化した背景には、党と政府権力側の政策的な主導と支援がある」ことから³¹⁾、《人民网》が強力に発信するニュースには当然党や政府権力の思惑が反映される。この対象期間に“光盘行动”がタイトル或いは本文に現れたニュース記事は3344例あるが³²⁾、ニュースという表現属性によるところも大きいのが、読者に直接的に呼びかける告知よりも、ややソフトタッチのプロパガンダとして、タイトル、記事本文の記述の中での比喩的表現、とりわけ暗喩の手法や、形式的には様々な音節数による語呂の良い定型句の表現を多用することで³³⁾、発信者が真に伝えたい因果応報を読者に暗に悟らせようとしている傾向が顕著である。そして、これは一種の変形のポライトネスの特徴と位置付けることもできよう³⁴⁾。

ニュース記事を講読資料とする中国語教授法という面からは、個別記事を

29) 劉亜菲 (2016) 40頁参照。

30) 新浪网与清华大学新闻研究中心 (2015) 19頁参照。

31) 劉亜菲 (2016) 40頁参照。

32) 2020年9月の基盤研究(C)「中国語教育のためのレアリア・文化語彙理解の基礎的研究」のミーティングで石崎博志氏が指摘した「日本と中国ではネット環境が大きく異なり、中国で配信されるメディアコンテンツが常に日本で視聴し続けられるという保証がないことが、研究成果の再現性の担保について大きな足かせになる」点は非常に重要である。本稿ではニュース記事が《人民网》でリンク切れしている場合は、可能な限り別のプラットフォームで配信される同一記事を収集し一覧を作成し、必要に応じて提示できるようにした。

33) 多字句の対句の連続など形式的な特徴(定型の多字句のリズム)の傾向は本文に記述の通りであるが、その詳細については紙幅の都合により、多用される文法構造とあわせて稿を改めて検討する。

34) 中西千香 (2020) 1798頁「小野2018: 157には、「中国語では依頼や禁止、注意喚起を行う場合に、その理由や目的を受け手に推察させることなく、それを全て言語化して示す頻度が高い」、「不特定多数の人に文章で告知するものは、一般に理由や目的をいちいち文面に併記する率が高い」とある。これについては、細かな注意事項を述べる際に限って触れて述べているかもしれないが、今回の注意・禁止表現の例からは、配慮の過程では、言語化されるものもあるが、配慮が進めば具体的には言語化しないものも増え、相手へ推察させることも求めている。」参照。

表面的に翻訳し文法理解するだけでなく、ニュース発信者の意図や発信頻度のピークの背景にある事象にも注目し、ニュースを多面的に読解することも求められる。例えば本稿で取り上げた“光盘行动”なら、それが必ずしも勿体無い精神だけで展開されている訳ではないことにも気づく「ニュース深読み」が可能になる。

本稿ではウェブ上のメディアが発信するニュース記事の中国語表現の角度から考察したが、紙幅の関係で、多字句の対句の連続など形式的な特徴と多用される文法構造については、別稿で改めてそれぞれ詳述することとする。また、本稿では扱わなかった公共の場所や食堂などに掲出される“光盘行动”に関する啓発ポスター・サイン表示の告知文の中国語表現の特徴については、稿を改めて考察したい。

付記：本稿は日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)「中国語教育のためのレアリア・文化語彙理解の基礎的研究」(課題番号：20K00873)の研究成果の一部である。

参考文献・資料一覧

- 北村豊 (2018) 「習政権の標的は「トラとハエ」から「黒と悪」へ」『日経ビジネス』「世界鑑測 北村豊の「中国・北村リポート」」<https://business.nikkei.com/atcl/opinion/15/101059/020700137/> (配信日：2018年2月9日／閲覧日：2020年12月11日)
- 及川淳子 (2014) 「習近平政権下の社会変動「維穩体制」をめぐる諸問題」日本国際問題研究所『国際問題』No. 631
- 新京报社 (2020) 《对话光盘行动发起人徐志军：要理性光盘、不要硬撑式光盘》《新京报 BJNEWS.COM.CN》<http://www.bjnews.com.cn/news/2020/08/27/762905.html> (配信日：2020年8月27日／閲覧日：2020年12月14日)
- 人民中国杂志社 (2013) 《人民中国インターネット版 コラム・学びの窓・中国語教室・流行語掲示板》http://www.peoplechina.com.cn/home/second/2013-04/01/content_531345.htm (配信日：2013年4月1日／閲覧日：2020年12月11日)
- 新浪网与清华大学新闻研究中心 (2015) 《2014媒体行业发展趋势报告》http://slide.news.sina.com.cn/media/slide_1_37787_81104.html#p=1 (閲覧日：2020年12月11日)
- 中国社会科学院语言研究所词典编辑室 (2016) 《现代汉语词典第7版》
- 趙蔚青 (2013) 「2013年中国の新語・流行語」愛知大学中日大辞典編纂所『日中語彙研究』第3号
- 中西千香 (2020) 「ポライトネス的視点からみる中国語の禁止・注意表現」立命館大學人文学会『立命館文學』第667号

ピラール＝イリヤス・姜雪寧 (2012) 「流行語から見る中国社会の表現の変化」長野大学『長野大学紀要』第33巻第2・3号合併号

劉亜菲 (2016) 「中国ネット世論形成における「党・政府主導型オピニオンリーダー」の発信行動と役割：「@人民日報」を例として」北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院『国際広報メディア・観光学ジャーナル』22巻

The New York Times Company (2020) *The New York Times* 《纽约时报中文网》“Xi Declares War on Food Waste, and China Races to Tighten Its Belt” 《习近平对粮食浪费宣战，推进“光盘行动”》 <https://cn.nytimes.com/china/20200824/china-food-waste-xi/dual/> (配信日 2020年8月24日／閲覧日：2020年9月10日)

付表 “光盘行动” 関連記事の月別タイトル数一覧

2013年	記事数	2014年	記事数	2015年	記事数	2016年	記事数	2017年	記事数	2018年	記事数	2019年	記事数	2020年	記事数
1月	162	1月	112	1月	12	1月	2	1月	6	1月	0	1月	3	1月	3
2月	393	2月	64	2月	25	2月	19	2月	1	2月	6	2月	10	2月	1
3月	268	3月	64	3月	28	3月	3	3月	24	3月	0	3月	5	3月	8
4月	115	4月	17	4月	9	4月	1	4月	18	4月	0	4月	7	4月	12
5月	97	5月	62	5月	7	5月	6	5月	47	5月	6	5月	7	5月	5
6月	51	6月	36	6月	11	6月	3	6月	88	6月	7	6月	4	6月	4
7月	44	7月	17	7月	2	7月	11	7月	28	7月	9	7月	12	7月	18
8月	29	8月	21	8月	9	8月	2	8月	20	8月	1	8月	1	8月	358
9月	47	9月	34	9月	1	9月	5	9月	5	9月	6	9月	5	9月	232
10月	66	10月	47	10月	19	10月	8	10月	21	10月	4	10月	5	10月	71
11月	94	11月	11	11月	2	11月	5	11月	7	11月	7	11月	2		
12月	161	12月	37	12月	6	12月	4	12月	6	12月	3	12月	2		

(付表注) 表中の記事数は、同一記事でも複数回配信されている場合は、全てカウントした。例えば、ある記事が3回配信されていれば、記事数は3となる。

塩山正純 Shioyama Masazumi 愛知大学教授 専門：中国語学